

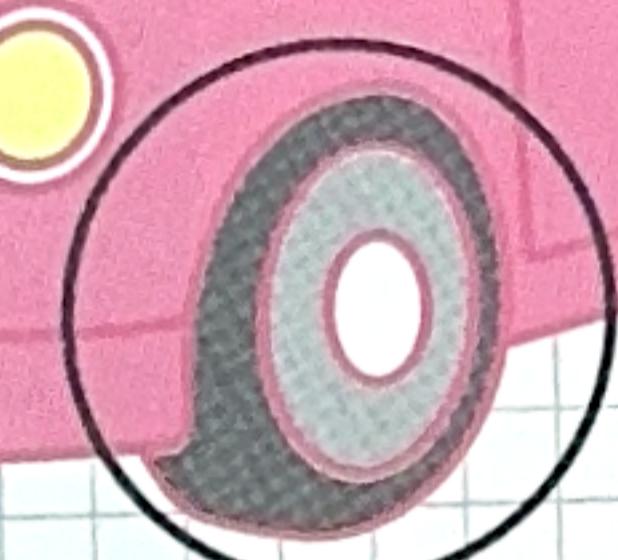
日常点検 #02

クルマの周りを回って

ランプ類の
点灯・点滅



タイヤの亀裂・
損傷の有無



タイヤの
溝の深さ



タイヤの
空気圧



[クルマの周りチェックシート]

判定 ○ or X



ランプ類の点灯・点滅

○	X
---	---



タイヤの亀裂・損傷の有無

○	X
---	---



タイヤの空気圧

○	X
---	---



タイヤの溝の深さ

○	X
---	---



ヘッドライト、スマートランプ、ブレーキランプ、テールランプ、
ウインカーなどが正常に点灯・点滅しているかチェック!

ランプ類の点灯・点滅



点検しないとどうなるの?

ランプ類は他車や歩行者に自車の動きを伝えたり、夜間走行時に使用します。ランプが正常に機能しないと、他車に対する意思表示ができずにトラブルに巻き込まれたり、夜間も走行できないなど危険です。

【チェック内容】――

ランプ類の点滅・点灯をそれぞれ確認するとともに、レンズに汚れや損傷がないかを点検します。



タイヤの亀裂や損傷の有無をチェック!

タイヤの亀裂・損傷の有無



点検しないとどうなるの?

タイヤの亀裂や損傷に気付かず走行すると、パンクや破裂の危険があります。特に高速走行時のパンクや破裂は事故につながります。

【チェック内容】

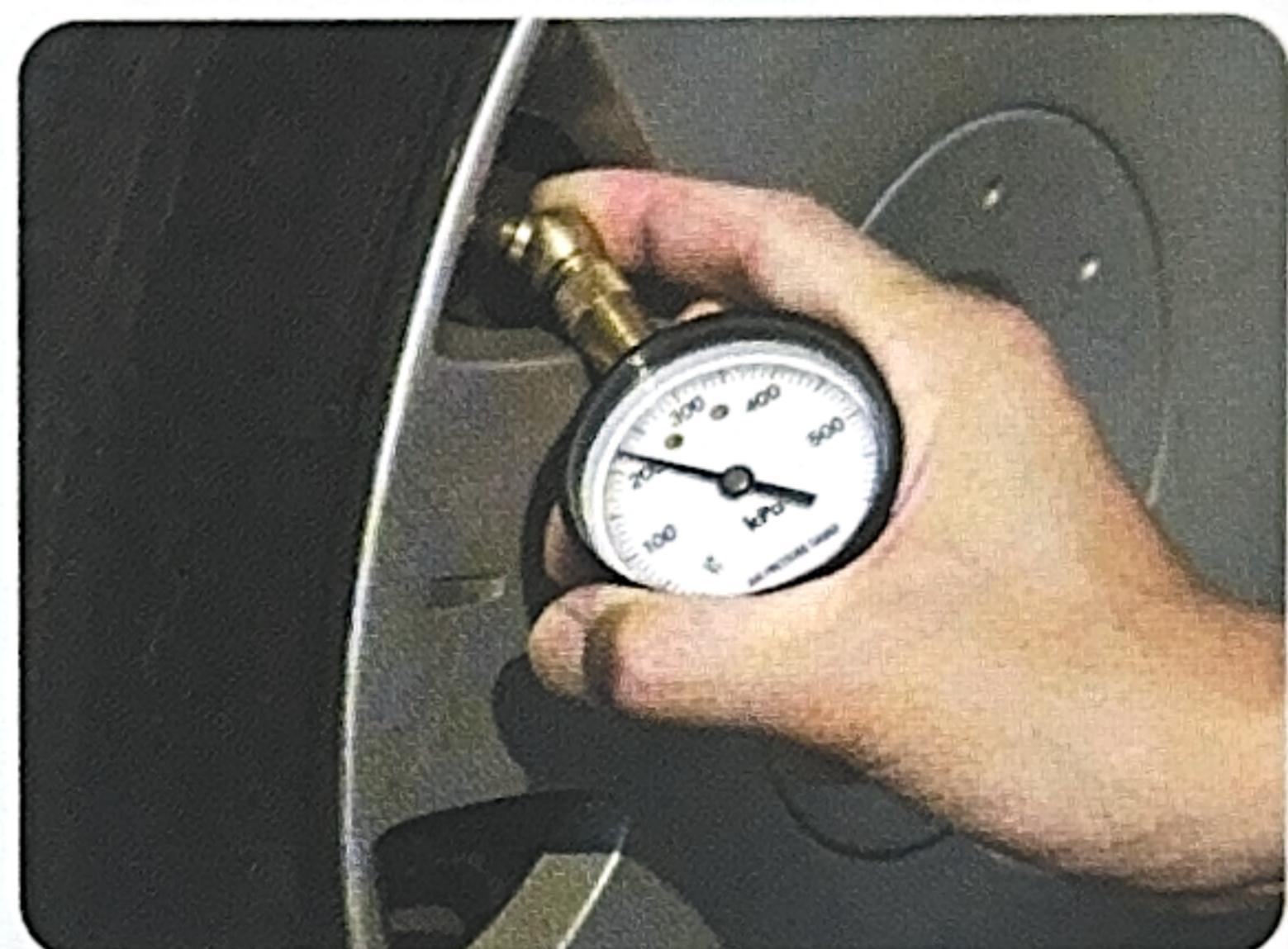
タイヤの亀裂や損傷の有無を目や手で確認するとともに、タイヤに異物が付着していないかを入念に点検します。



このような状態は
要チェック



タイヤの指定空気圧は、運転席ドアの端やセンターピラーに貼付されているラベルに表示されています。



タイヤの空気圧をチェック! タイヤの空気圧

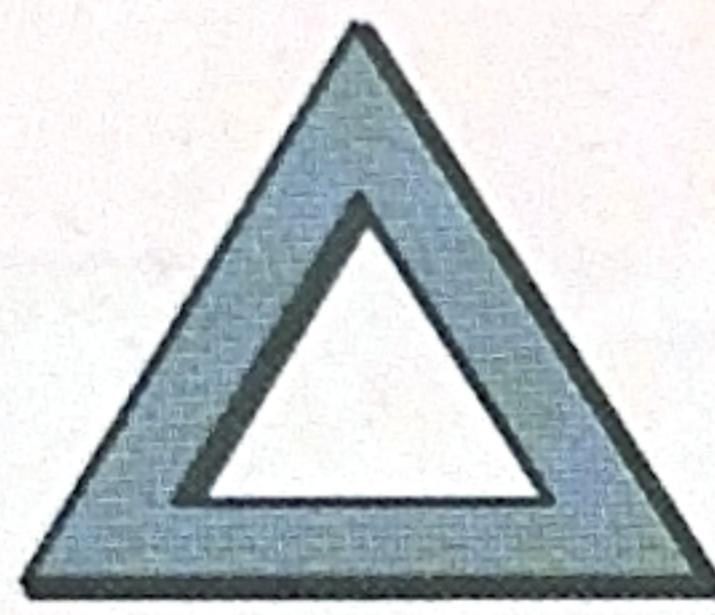


点検しないとどうなるの?

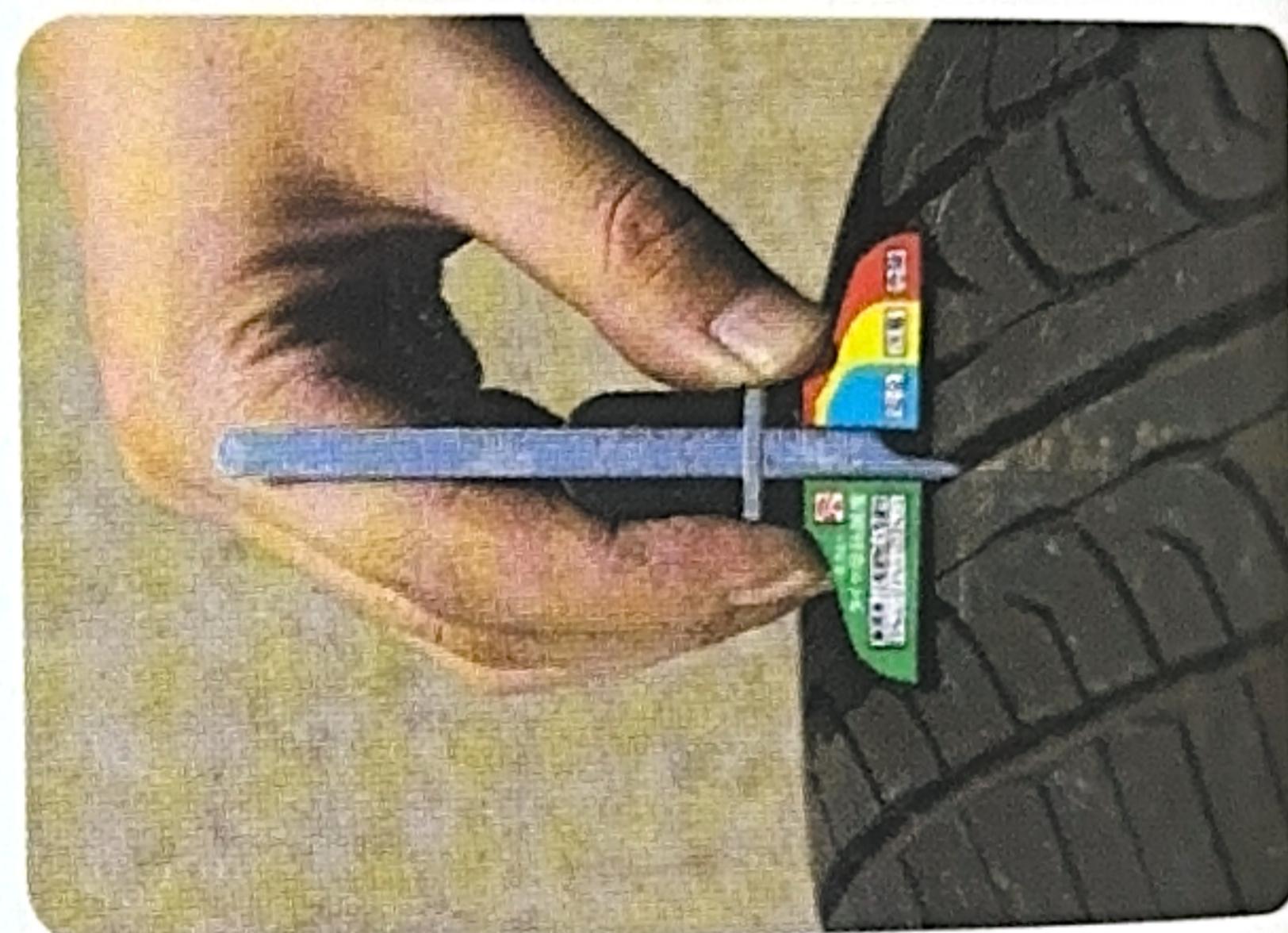
タイヤの空気圧が低下すると接地面積が多くなり、走行時の安定性や燃費が悪くなります。最悪の場合、タイヤが破裂することもあります。

【チェック内容】

タイヤの接地部のたわみ具合を目で見て判断します。たわみ具合で判断できない場合は、エアーゲージを用いて、タイヤの空気圧が規定の範囲内にあるか点検します。



スリップ・サインの位置を示すマーク
スリップ・サインは、タイヤの溝の深さが1.6mm以下になると現れます。溝が浅くなるとタイヤがスリップしやすくなり、特に雨天時には大変危険となりますので、スリップ・サインが現れそうになったら、タイヤを交換しましょう。



タイヤの溝の深さが浅くないかチェック!

タイヤの溝の深さ



点検しないとどうなるの?

タイヤの溝は、道路とタイヤ間の水を流し、ブレーキの効きを助けます。磨り減ったタイヤで走行するとブレーキが効きづらく、雨天時にはスリップするなど思わぬ事故につながります。

【チェック内容】

タイヤの溝の深さが十分あるかをスリップ・サインを目印に点検します。

もしもの時のお役立ち情報

まめ知識①

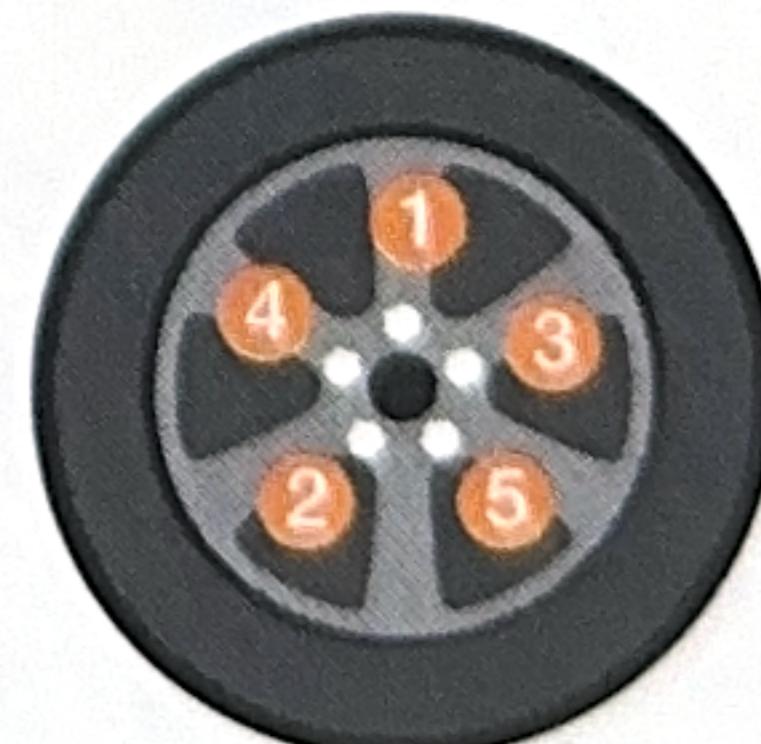
タイヤがパンクしたら

パンク時のタイヤ交換の方法を紹介します。

- [1] 交通の邪魔にならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。
- [2] パンクしたタイヤの対角線上にあるタイヤに、輪止めなどをかけておきます。
- [3] パンクしたタイヤのホイールキャップをはずします。
- [4] ホイール・ナットを少しだけゆるめます。
- [5] ジャッキアップ・ポイントを確認します。
- [6] パンクしたタイヤの近くのジャッキアップポイントに、ジャッキをかけます。
- [7] パンクしたタイヤが地面から少しはなれるまで車体を持ち上げます。
- [8] ホイール・ナットを取りはずし、パンクしたタイヤをスペアタイヤと交換します。
- [9] 仮じめ:ホイール・ナットを取り付け、図に示す番号順にタイヤががたつかなくなるまで、2~3回に分けてしめつけます。
- [10] 本じめ:車体を下げ、ジャッキをはずしてから、仮じめのときと同じように2~3回に分けて、ホイール・ナットを十分にしめつけます。
- [11] 応急用タイヤ:取り付けたタイヤが応急用タイヤの場合は、パンクしたタイヤを早く修理するなどして、との位置に取り付けます。



仮じめの順番(4穴)



仮じめの順番(5穴)